

令和4年度の主な取組【施政方針より】

1. 人・文化を育む

- 学校教育の充実～教育改革第2ステージ～
 - ・「地方教育アドバイザー」の派遣
 - ・「文部科学省C B Tシステム（M E X C B T）」を導入
 - ・「不登校特例校」の早期開校に向けた準備
 - ・タブレット端末や通信環境などの有効活用
 - ・「英語特区」の取り組みの充実
 - ・「学校教育・保育審議会」を設置
- 生涯学習・スポーツの推進
 - ・グラウンド・ゴルフ場を整備

2. みんなで地域づくりを進める

- 協働のまちづくりの推進
 - ・「地区計画」の策定を支援
 - ・「人と地域が輝く未来共創交付金制度」を創設
- 持続可能な行財政運営
 - ・デジタル化の推進
 - ・ふるさと納税寄附金の返礼品の充実

3. 暮らしをともに支え合う

- 子ども・子育て支援の充実
 - ・「子育て世代包括支援センター」を拠点とした母子保健事業の充実
 - ・オンライン相談や電子母子手帳アプリの利用の促進
 - ・「新生児聴覚検査費用助成事業」を新たに実施
 - ・3歳6カ月児健康診査事業に「屈折検査」を導入
 - ・「子ども医療費助成事業」は所得制限なしで中学3年生まで助成
 - ・「子どものインフルエンザ予防接種費用助成事業」を継続
 - ・南保育園・第二幼稚園での「一時預かり事業」を実施
 - ・「ファミリーサポートセンターの利用料助成事業」を実施
- 高齢者福祉の充実
 - ・「いきいき百歳体操通いの場」に理学療法士などの専門職を派遣

4. 安全・安心を守る

- 防災・減災対策の充実
 - ・ハザードマップの改定
 - ・防災機能を備えた「道の駅」や「スポーツレクリエーション拠点施設」の整備に着手
 - ・自主防災組織への支援を継続

5. 活力・賑わいを創る

■農林産物の高付加価値化

- ・「宮城白石産ササニシキ復活プロジェクト」の支援
- ・「白石三白野菜」をはじめとする農林産物のブランド化を推進

■商工業の振興

- ・企業立地優遇制度により投資を促進
- ・既存企業に対する情報提供やサポート体制の強化

■観光の振興

- ・本市の特性である豊かな自然環境を生かした観光コンテンツの造成
- ・歴史的資源を活用した観光コンテンツの磨き上げ

■雇用・就労支援の充実

- ・「創業塾」「空き店舗等対策事業補助金」による創業支援

■移住・定住の促進

- ・「定住者補助金」「新婚家庭家賃補助金」などの住宅支援事業を継続
- ・地域おこし協力隊制度を活用

6. まちの未来を描く

■豊かな自然環境の維持

- ・「脱炭素社会」の実現に向けた「ゼロカーボンシティ」を宣言

■空き家対策の推進

- ・「空き家バンク制度」の周知と活用

■利便性の高い公共交通網の確保

- ・「白石市地域公共交通計画」の策定

■魅力ある都市空間の整備

- ・都市計画道路中河原白石沖線事業
- ・益岡公園テニスコート関連施設の改修工事

持続可能なまちの実現に向けて～当面の目標と課題～

■「カーボンニュートラルの実現」

- ・「脱炭素社会」の実現に向けた取り組みを検討

■「（仮称）白石中央スマートインターチェンジ」と周辺施設の整備

- ・新たな企業誘致や既存企業の活動支援、中心市街地の活性化や観光振興、地域医療の充実、災害時の安全確保など、さまざまな相乗効果が期待できる「地域活性化の起爆剤」として、地域経済の発展、市民サービス向上の好循環の創出を推進

■公立刈田総合病院の経営健全化

■新型コロナウイルス対策